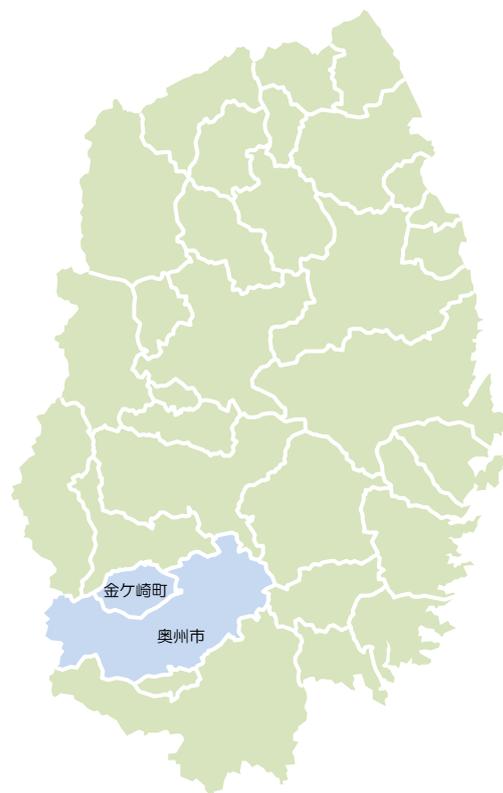


## 県土整備部の職場紹介 No.5 県南広域振興局土木部



### 地域概要

県南広域振興局土木部は、県南広域振興圏全体の企画・調整業務等(本局業務)と行政センターとしての業務を担っており、奥州管内は、奥州市と金ケ崎町の1市1町で構成されています。

県が管理する道路は国道4路線、主要地方道6路線、一般県道23路線の計33路線約430km、河川は、直轄管理の北上川に注ぐ1級河川の26河川約204kmとなっています。

**県南広域振興圏は、本県でもっとも工業集積が進んでおり、また、県内有数の農業地帯であるという特徴を生かし、農業と工業とがバランスよく融合した地域として、産業振興をはじめ様々な分野で、「世界に誇れる岩手」を牽引する重要な役割を發揮していきます。**

### 組織体制

#### ○組織スローガン

**「本格復興完遂年 オール岩手で 県南土木!!!」**

#### ○組織の特徴

組織は、部長以下6課で構成し、職員数は、正職員36名と臨時職員等18名を加え、総勢54名の体制となっており、広い分野にわたる公共土木施設の整備、維持、管理および許認可事務を担当しています。5市3町にわたる県南広域振興圏の企画・調整業務等を遂行するため、県内の土木部等で唯一の調整課があるのが特徴です。

### 今年度の主な取組

#### (1) 一般国道397号 小谷木橋

一般国道397号は、岩手県大船渡市を起点として、秋田県横手市に至る幹線道路であり、重要港湾である大船渡港と内陸部を結ぶ物流路線です。

**小谷木橋は、老朽化に加え、幅員が狭く大型車のすれ違いが困難な状況にあることから、架け替えにより三陸沿岸地域の復興支援と安全な交通確保を図るものです。**

現在、道路改良工事や橋梁下部工工事を鋭意進めています。



小谷木橋架け替え工事の状況

## (2) 一般国道343号 藤橋

一般国道343号藤橋は、内陸部と沿岸部を結ぶ産業路線として、また、通勤・通学等地域住民の生活路線として重要な路線となっていますが、架橋から39年が経過し、老朽化に伴う損傷等が見られることから補修が必要となっています。

このため、岩手県橋梁長寿命化修繕計画に基づき、**損傷箇所等について計画的な修繕を行い、加えて、当該路線は復興支援道路に位置づけられていることから、あわせて橋梁耐震補強工事を行うものです。**

現在、橋脚補強工事等を進めています。



藤橋橋脚補強工事の状況

## 独自の取組等

### (1) いわて国体にむけた取組

希望郷いわて国体・希望郷いわて大会に向けた県南広域振興局の取組として、「県南でおもてなしいわて国体プロジェクト事業」を進めています。この取組の一環として、盛岡広域振興局土木部と連携して、「国体おもてなしロード環境整備事業」を進めています。

当事業では、**地域住民等と協働による視線誘導標への国体マスコットシールの貼付や、住民協働草刈団体等の国体マスコットを活用した、のぼり旗やサインボードの設置を進めています。**



国体マスコット わんこきょうだい



地域の小学生と一緒に道路上の視線誘導標へ国体マスコットシールを貼付

### (2) 本局とセンター間の連携

県南広域振興局では、「いわて県民計画」の実現に向けて、本局・センター間での連携を深めるため、**管内の「土木部長、センター所長会議」、「工務課長会議」、「管理用地課長会議」を開催し、情報共有等に努めています。**



県南管内工務課長会議の様子（5月19日）